

「著作権保護コンテンツ」

転職エージェントが教える

後悔しない 社会人1年目の 働き方

Way of working at freshman

リクルート エグゼクティブ エージェント

森本千賀子

NHK「プロフェッショナル 仕事の流儀」に出演！

出会った経営者3000人、人事担当者4500人！
企業で求められる人材を
知りぬいた、転職エージェント
だからこそわかる

新社会人のルール58!

「著作権保護コンテンツ」



後輩指導
にも最適。
納得の仕事術
満載!!

はじめに

社会人1年目。希望や理想を抱く一方、新しい未知なる経験が次々と押し寄せ、戸惑いや不安を感じながら過ごす時期です。「早く一人前にならなくては」「早く成果を上げて認められなくては」と焦りを感じることもあるでしょう。あるいは、「がんばろうという気持ちはあるけれど、どのようにがんばればいいのかがよくわからない」という方もいるかもしれませんね。

この本では、そんな社会人1年生の皆さんに、必ず成果・成長に結びつく働き方、社会人1年目の今ならではの効力がある働き方をお伝えします。

私は、森本千賀子と申します。大学卒業後、リクルート人材センター（現社名・リクルートキャリア）に入社し、企業の採用支援および転職を希望する方々の転職活動支援に携わってきました。

私が皆さんに本書を通じてメッセージを送ることになったのは、私がとても幸せなビ

ビジネス人生を送ってこれたことを実感しており、その実現につながった秘訣をお伝えしたいと思ったからです。

私にとっての「幸せなビジネス人生」には、複数の要素があります。社内外の多くの人と出会い、心を通わせ、信頼関係を築けていること。それが法人向け営業職／コンサルタントとしての業績につながり、新人時代から社内でもトップを走り続けることができました。さらに会社から認められたことで、「こんなポジションでこんな仕事がしたい」というキャリアビジョンを叶え、日々、達成感や成長感を感じながら仕事をしています。今は2人の子どもを育てながらフルタイムで働き、目がまわるような忙しさですが、毎日が楽しくて楽しくてたまりません。朝、目覚めた瞬間から「仕事をしたい！」「早くお客様に会いに行きたい！」とワクワクしているのです。周囲の方々からは、「なぜ、そんなにがんばれるの？」「なぜ、そんなに楽しそうに働けるの？」なんてよく言われます。

そうはいっても、私も新人時代にはつまずき、転んだこともありました。自分が思った以上に「できない」ことにショックを受け凹んだものです。私はもともと向こう見ず

で怖いもの知らずな性格。たいていのことは、勢いで乗り越えられると思っていたのです。営業職として働きはじめたころも、強い思いさえあればお客様に通じると思っていました。けれど、それは甘い考えでした。知識も経験もない私は、お客様の疑問に十分な回答ができず、課題を解決する術も持っていない。自分の無力さを痛感し、情けない気持ちになったものです。お客様からベテランの営業スタッフに替えてほしいと会社にクレームが入り、トイレにこもって泣きはらしたのを今でも記憶しています。

けれど、どんなつまずきも挫折も、意識と行動をほんの少し変えるだけで、すぐにリカバーすることができます。私の場合、まず、自分が「できない」という事実を素直に受け入れ、「自分の力で成し遂げよう」から「人の力も借りよう、助けてもらおう」という方向へと意識転換しました。いろいろな人の経験や知恵にも頼ろうと考え、上司や先輩に質問するのはもちろん、他部署やグループ会社の人のところにも出向いて、ノウハウやナレッジを聞いてまわったのです。その積み重ねは、人脈の構築にもつながりました。

また、直接質問、相談するだけにとどまらず、スキあらば「盗む」ことも意識しました。先輩が資料をコピーしていると、近づいていって「何の資料ですか？」とたずね、「一部ください！」と余分にコピーを取ってもらいました。また、朝は誰よりも早く出社して、メンバー全員のデスクを雑巾がけ。先輩の机を拭きながら、置いてある資料や企画書の中身をチェックし、コピーを取らせてもらったりもしました。こうして情報や知識をかき集め、自分の中に「引き出し」を増やしていったのです。このように、人に頼ったり、教えてもらったりできるのは、新人だからこそできること。私はそんな「新人の特権」をフル活用したのです。

みなさんが直面する課題も、「新人」という立場を生かすことで、意外と簡単に乗り越えられるかもしれません。「こんなこと聞いていいのかな」「こんなことして怒られないかな」なんて迷いは捨て、思い切ってチャレンジしてください。

この本では、具体的な行動のノウハウについてもご紹介しています。ただし、この本に記していること、すべてを実践しなければならぬわけではありません。「これならできる」「これをやってみたい」と感じたものから取り入れていってみてください。

社会人1年目は、フルマラソンでいうと、42・195キロのちょうど最初の5キロ分くらいの長さでしょうか？ この時に、頑張って必死で走っていれば、先頭集団に
いることもできるでしょう。

ある経営者が教えてくれました。フルマラソンで優勝する選手は最初の数キロまでの
時点でも必ず先頭集団にいるもんだと。ビジネスの世界で成功を目指す上でも、最初の
数キロの地点で先頭集団に入っていることはとても大事なことです。1年目はほか
の同期も張り切ってがんばります。でもがんばり方そのもののやり方と、成果の出るべ
クトルに向いて努力しているかがとても大事なことなんだと経験から学びました。

私がさまざまな講演の中で新人時代の話をする、もっと早くに聞いておけばよかつ
たという声をたくさんいただきます。私自身、確かに強い意思をもってやっていたこと
が、今の自分につながっていると感じています。

そういう意味でも、本書が1年目のあなたの課題の突破口となり、成長の一助となる
ことを願っています。

もくじ

はじめに

新社会人の“よくある”お悩み集

14 1

Part 1

絶対に心得ておきたい6カ条

1

笑顔・元気は新人の「役割」

20

2

新人時代はたくさん恥をかいた人の勝ち！

22

3

「置き物」にならない。新人ならではの意見を発信

24

4

「小さな目標↓達成！」をくり返して自分を盛り上げる

26

5

「マラソンの先頭集団」に入社3年以内に入っておく

28

6

1年目は「守・破・離」の「守」

30

Contents

15	14	13	12	11	10	9	8	7
バイオリズムの把握も仕事のうち	読む本のジャンル選びで迷ったときは「歴史もの」	書物と向き合うことを「日常」にする	「情報収集力」が上がる新聞の利用法	「仕分け作業トレーニング」で優先順位がわかる	本音を引き出す「質問の仕方」に注目	複数の先輩を観察して「いいところ取り」をする	最初の3カ月間は「質問魔」になろう	デスクに鏡を置いておく
58	54	52	50	46	42	40	38	36

Part 2

基本のスキル・知識を身につける

Part
3

求められる人材になる

16	「雑用」こそ自分をアピールできるプレゼンツール	64
17	「打てば響く」人間にチャンスが巡ってくる	68
18	飲み会の幹事も立派なマネジメント経験	70
19	理想的な仕事の3要素「WILL」「CAN」「MUST」	74
20	これからのマストスキルは「変化対応力」！	78
21	「××といえば〇〇（自分）」という「自分ブランド」を作る	82
22	仕事以外でもOK！ 強みはどんどんアピール	84
23	社内の「オピニオンリーダー」を探して仲良くなる	86
24	社風や価値観はインテリアからもわかる	88
25	企業の「通知表」の読み方を知っておく	92
26	「このペン、1本いくら？」を意識する	96

Contents

Part
4

人間関係を築く

27	会話のきっかけ作りは万人ウケするジャンルがいい	102
28	次につながるおつき合いは相手への興味からはじまる	104
29	相手の価値観を探るならスポーツ・映画・本の話	108
30	お礼のメールでは「ビジネス定型文」は使わない	112
31	一筆せんを常備。気持ちは「手書き」で伝えて	114
32	年賀状と暑中見舞いで自分の存在をアピール	116
33	同期は一生の財産。1年目のうちにつながっておく	118
34	社内資料で「会いたい人」を探す	120
35	「〇〇線沿線住人の会」「〇月生まれの会」を企画	122
36	友人と飲むときは「もう1人連れてきて!」	124
37	合コンは、「〇〇業界の人を呼んで」とリクエスト	126
38	関係を深めたい人は「ランチ」に誘う	128

Part
5

壁を乗り越える

39

ランチタイムを有効活用するための、お店の選び方

130

40

厳しい人から逃げない。むしろ自分から近づこう

132

41

がんばっても成果が上がらないときには
グッド・プラクティス、小さな「よかった」に注目

138

仕事で失敗したら

42

「挽回力」で評価を得るチャンス

140

叱られて落ち込んだときには

43

「お叱りは期待の表れ」と考える

142

教えてくれる人・相談できる人がいないときには

44

既存のやり方に縛られず自由に仕事をするチャンス

144

どうしても苦手な上司・先輩がいるときは

45

距離を置く前に相手の本質を探ってみる

146

Contents

52	「生きる」としていた過去」に戻ってみる	164
51	どうしてもモチベーションが上がらないときには 自分を奮い立たせる「言葉」を持つておく	162
50	「眠る」「食べる」「人に会う」	158
49	心が弱ってしまったときには 仕事で楽しくない・苦痛と感じたときには 妄想力で発明しよう！「おもしろくする」自分ルール	156
48	異動は「成長のチャンス」。10年後に経験が生きること	152
47	不本意な「異動」を命じられたら 異動は「成長のチャンス」。10年後に経験が生きること	150
46	会社や上司の方針に疑問を抱いたときは まずは反発しないでいったん受け入れてみる 古い慣習に抵抗感を抱いたら 続いている慣習には何か意味があるはずと考えて	148

column

- 5 「失敗」や「悩んだ経験」は財産。重ねた分だけ成長できる 166
- 4 上下関係を「わきまえるべき場面」「気にしなくていい場面」 134
- 3 雇用市場で求められる人材とは？ 98
- 2 「敬語がうまく使えない」をカバーする秘訣 60
- 1 「心が折れない自分」になるにはどうすればいい？ 32

Part
6

心を強くする

- 58 環境、備品、先輩の指導、「当たり前」に感謝してみよう 184
- 57 気持ちもスキルも高めてくれる「メンター」「サポーター」 180
- 56 マンガや有名人でもOK！「なりたい人物像」をイメージ 178
- 55 仕事とプライベートは「キッチリ分けない」のが森本流 176
- 54 さまざまな「プロ」の世界に触れ、感動体験を積む 174
- 53 「それ、やったことある」が増えれば自信につながる 170

Contents

こんなときどうすれば？	教えて！ 森本さん	
Q 仕事に時間がかかりすぎてしまいます。要領が悪いのでしょうか？		186
Q 仕事が残っていてもやる気が出ず、つい後回しに。後で焦ることになってしまいます……		187
Q メール処理に時間がかかり、たまっていく一方。効率的にさばくコツを教えてください！……		188
Q キャリアアップの武器になるような資格を取りたい。おすすめの資格はありますか？		189
Q 上司や先輩から「可愛げがない」と言われます。自分ではそんなつもりはないのに……		191
Q 今の仕事、自分に合わないんじゃないかと悩んでいます		192
結婚・出産してもキャリアを積み上げていきたい。今のうちから準備しておくべきことはありますか？		194
診断	あなたが生かす&伸ばすべき強みは？	196
診断結果	あなたの強みをチェック！	200
おわりに		202

新社会人の “よくある”お悩み集

飛び込み営業をすると
冷たい反応に
心が折れそうです……

↓冷たい反応すら楽しんで
しまうような工夫をしてみ
ましょう。(5章・P156)

課せられた
ノルマに
押しつぶされそう！

↓まずは自分で達成しやすい
目標を作り、達成の喜びを知
りましょう。(1章・P26)

心が折れてしまいそう…

やる気があつたり
なかったり……
この気分の波はどう
したらいいんでしょう？

↓自分の「バイオリズム」
を記録してみましょう。
(2章・P58)

上司が厳しいです。
これから一緒に
やっていけるとは
思えません……

↓そういう人のそばにこそ、
いるといいんですよ。

(4章・P132)



わからないことは
すぐ聞いていいですか？
自分で考えてからじゃないと
嫌がられますか？

↓最初の3カ月間は何でもか
んでも聞いてOK！
(2章・P38)

本当にこの仕事で
いいのか不安。
どうしてもモチベーションが
上がりません

↓やる気がわくフレーズを見返した
り、熱意にあふれた過去を思い出し
たりしましょう。(5章・P162、164)



こんなに仕事
が遅いのは私だけ？
要領が悪いから……？

↓すぐ見える位置に時計を置き、
時間の経過を意識しましょう。
(教えて！ 森本さん・P186)

仕事の優先順位が
わかりません。
上司や先輩に一度に
頼まれても困ります！

↓各仕事の時間帯やルール
を決めて、効率をアップさ
せましょう。(2章・P46)

毎日、雑用ばかりで
うんざり！
早くやりがいのある
仕事がしたいのに……

↓雑用に真剣に取り組める
人に、責任のある仕事はま
わってくるんですよ。

(3章・P64)

人間関係って難しい！

上司も先輩も忙しい！
邪魔してまで聞けないし、
好きに進めていいか不安です

↓ラッキーです。自分独自の
アイデアや工夫を試せるなん
て、なかなかないですよ。

(5章・P144)

社内で人脈を広げる
必要はあるの？
営業売上には
関係ないし……

↓思いがけない情報や知識
が得られるチャンスがある
かもしれませんよ。

(4章・P118、120、122)

お客様に覚えて
もらいたいのですが、
敬語が苦手で
堂々と話せません

↓基本のあいさつさえ、押さえれば
だいじょうぶ。手書きのメッセージ
も使ってみましょう。
(column2・P60、4章・P114)

苦手な先輩や同僚とは、
できるだけ関わらずに
過ごしていきたいです

↓実は誤解している可能性も大です。
いろいろな角度から見直してみま
しょう。(5章・P146)

仕事のオン・オフは
切り替えたいです。
職場にプライベートは
持ち込みたくありません

↓プライベートを知っておい
てもらう方が、実はおトクな
んですよ。(6章・P176)



もっと上へ行きたい！

成果がなかなか
上がりません。
ひとつ先をいく同期を
見ていると、
焦ってしまいます

↓小さな成果「グッド・プ
ラクティス」を数えてみま
しょう。(5章・P138)

いつかは昇進して、
リーダーになりたいです！
そのために今は
何をするといいのでしょうか

↓飲み会の仕切り役を引き受けましょ
う。いいトレーニングになります。

(3章・P70)



新規のアポ取りに成功！
絶対に逃したくないけど、
どうやって話せば
うまくいくのでしょうか

↓上司や先輩の「質問の投
げかけ方」を注意して観察
しておきましょう。

(2章・P42)

会社が必要とされる
人材になりたいけど、
自分が伸ばせることって
なんでしょう：

↓自分の得意なスキルを伸
ばすために、「ポータブル
スキル」を見てみましょう。

(3章・P78)

女性として
結婚・子育てをしながらも、
キャリアを
積み上げていきたいです

↓女性は「キャリアの前倒し」
を意識して、上司と将来のビ
ジョンを共有しましょう。
(教えて！ 森本さん・P194)

大失敗！そんな時は…

気をつけていても
小さな失敗を
重ねてしまいます……

↓失敗や悩みは、重ねた分だけ成長できます。反省したらすぐにまた行動しましょう。
(column 5・P166)

仕事で大失敗
してしまいました。
もうすべて
あきらめモードです……

↓むしろチャンスです！
「挽回する力」でアピール
しましょう。

(5章・P140)



環境が気に入らない…

社員旅行や運動会、
会社の行事って
ムダではないですか？

↓職場の関係を越えた会話も
楽しいものですよ。慣習は価値があるから、続いているものです。(5章・P150)

希望していない場所へ
異動を命じられました。
今から憂鬱です

↓不本意な配属や異動もチャンス。「変化対応力」を身につけましょう。

(5章・P152)

今の仕事か
合っているかわからず、
モヤモヤしています

↓「お試し転職活動」で、さまざまな業界や職種を見てみましょう。
(教えて！ 森本さん・P192)

Part 1

絶対に心得ておきたい6カ条



1

笑顔・元気は新人の「役割」

私が新入社員のころ、いちばんに意識していたのが「いつも笑顔でいること」「誰よりも元気にあいさつすること」でした。

私が会社や所属部署に対して貢献できることといえば、今はそれしかないと考えたからです。まだ売上を立てれるわけじゃないし、雑用ひとつするのだって先輩に時間を割いていただき、一つひとつ教えてもらわなきゃできない。忙しい先輩たちにとってみれば、むしろ「メンドクサイ」存在ともいえます。であれば、私は新人ならではのフレッシュなパワーやエネルギーといったものを発揮して、周囲に伝播しよう！と。それが私の役割であり、存在価値であると考えたのです。

「おはようございます！」「お疲れさまです！」「先輩が外回りに出かけるときには「行ってらっしゃい！」、帰ってきたら「お帰りなさい！」。必ず笑顔で、誰よりも



Part 1 絶対に心得ておきたい6カ条

大きな声でのあいさつを心がけました。ビジネススキルがまだ身についていない新人でも簡単にできることです。それで部署内の雰囲気明るくなり、活性化すれば、チームにとって「大切な存在」「欠かせない人材」に近づくことができるのです。

それによって、結果的には自分にもご褒美が返ってきます。上司や先輩に「大切な後輩」と思われれば、「育ててやろう」という気になってもらえるのです。普通なら放っておかれるような場面でも、ひと手間かけて仕事を教えてもらえたり、困ったときには助けてもらえるようになるでしょう。

それに、意識的に笑顔を作ること、何より自分自身が明るく、前向きな気分になります。笑顔&元気は、自分にとっても周囲にとっても得なことばかりなのです。

笑顔たっぷり、元気いっぱい
の新人は
周囲から可愛がられる。
育ててもらえる

2

新人時代は たくさん恥をかいた人の勝ち！



「最初が肝心。上司や先輩、取引先から『こいつデキる』と思われたい」なんて思っていますか。でも実は、今はどんどん恥をかくべきとき。おっぴらに恥をか

けるのは新人ならではの特権なのです。ビジネスパーソンとして成長できるかどうかは、新人のうちにどれだけ恥をかいたかにかかっていると、私は思います。

「そんなことも知らないの」と言われるのを怖がっていませんか？ 実はわからないのに、知ったかぶりをしてしまっていないですか？ せっかく思いついたことも「こんなことしていいのかな」と迷ううちに実行できずにいること、ありませんか？

それはとてももったいないことです。学ぶチャンスを自ら放棄してしまっているのと同じことです。たとえ間違えて怒られ、呆れられ、恥ずかしい思いをしてしまったとしても、それで身についたものは、あなたの立派な財産になるのですから。

恥をかいて得た知識、経験は
強力な武器、財産になる

私自身、ずいぶん恥をかいてきたなあと思います。片っ端から会社に飛び込み営業をかけて「忙しい、仕事のジャマだ！」と怒られたり、「必要ない」と一蹴されたり、知識不足からとんちんかんな質問をして呆れられたり……。思い出すと赤面してしまうようなことは、山ほどあります。

でも、それで強くなりました。恥をかくたびに「いい勉強になった。また少し成長できた」と考えるようにしていたら、恥をかくことが怖くなくなりました。こうして、どんなことも怖がらずにチャレンジできる自分になりました。

社会人1年目は、ものを知らなくて当然。できなくて当然。それが許される貴重な時期です。「恥をかいてやろう」くらいの気持ちで、ガンガン突き進んでください！

3

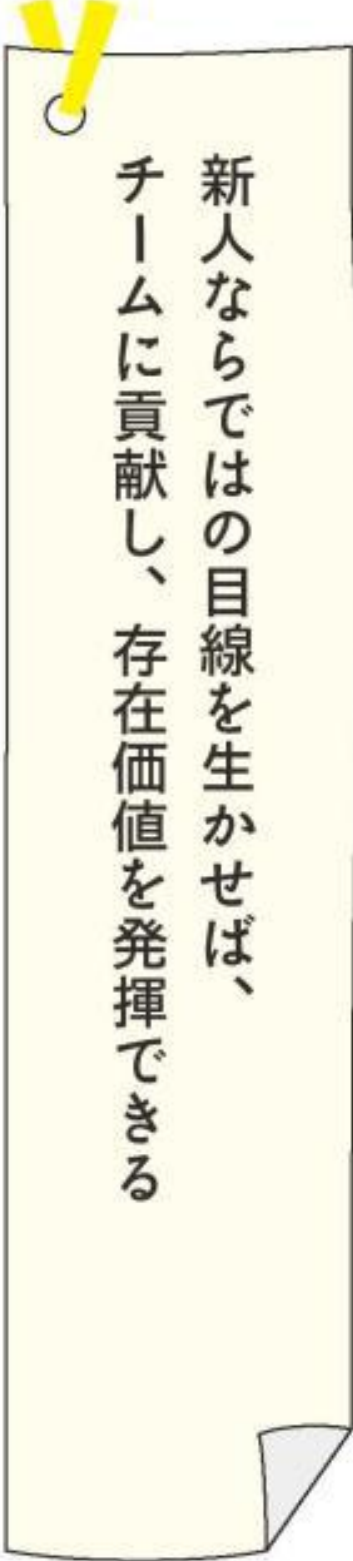
「置き物」にならない。 新人ならではの意見を発信

たとえば、所属している部署での会議や打ち合わせの場。あなたは隅っこでひっそりと「置き物」になってしまっていないませんか？「新人の自分が口をはさむべきではない」と遠慮して、ひたすら聞き役に回っていませんか？それだと、あなたの存在価値はなくなってしまいます。

私も最初のころは「置き物」でした。今の私にできるのは上司や先輩の会話を聞いて学ぶことだけ、と思っていました。でも、当時の上司からこう言われたのです。「おまえはこのメンバーの中で唯一のシロウトなんだ。いちばん『ユーザー目線』に近いんだから、その視点で思ったことをどんどん発信してくれ」

社会人経験を積んでいくと、ビジネス社会の常識とか業界のルールなどが染みついていきます。その点、新人には、会社の利害にとらわれない、「欲しいものは欲





新人ならではの目線を生かせば、
チームに貢献し、存在価値を発揮できる

しい。いらないものはいらない」という一消費者の感覚が残っています。それを生かさない手はありません。新人の今のうちだからこそ言える新鮮な意見、提案があるのです。それを発信することで、チームに貢献することができなのです。

「意見を言ったら生意気だと思われませんか？」という不安もあるかもしれませんが、そこは言い方次第。「私が思うには、それは○○ということではないかと思うのですがいかがでしょうか」「私は○○という部分に疑問を感じたのですが、どう解釈すればいいでしょうか」といったように、新人らしく謙虚な姿勢を見せつつ、でも堂々と意見を発信していきましょう。

診断

あなたが生かす&伸ばすべき強みは？

日常生活の何気ない行動や考え方から、あなたの強み・志向性を探りましょう。仕事でこれらを生かし、伸ばしていくことを意識すれば、自分らしい働き方ができるはず。設問を読み、より当てはまる方へ進んでください。

※あなたが備えている能力、志向はひとつとは限りません。設問で迷うものがあったら、両方へ進んでみてください。

Q1

旅行に出かける
としたら？

大人数のほうが楽しい →Q2へ

1人旅または気の合う人と2人で →Q3へ

Q2

友人や後輩が
悩んでいたら？

一緒に考え、アドバイスする →Q4へ

ひたすら話を聴いてあげる →Q5へ

Q3

友人の誕生日を
祝うなら？

仲間を集めてサプライズパーティを企画する →Q6へ

よろこびそうな品を探してプレゼントする →Q7へ

Q7

子どものころ好きだったのはどちら？

パズルやゲーム →Q13へ

図画工作 →Q14へ

Q4

イベントでスタッフを務めるなら？

司会・進行を担当したい →Q8へ

装飾・余興を担当したい →Q9へ

Q8

セミナーを受講するなら？

「説得力のある話し方」 →Q15へ

「仕事がスイスイ進むダンドリ術」 →Q16へ

Q5

ドラマを観るとしたら？

刑事ドラマ →Q9へ

ヒューマンドラマ →Q10へ

Q9

どこかへ遊びに行くときは？

事前に下調べをして綿密にスケジュールを立てる →Q17へ

行き当たりばったりを楽しむ →Q18へ

Q6

気になるヒット商品。聞いてみたいのは？

開発までの裏話 →Q11へ

ユーザーたちの商品の感想 →Q12へ

Q13

ネットを見ている
ときにしがちなのは？

ひとつのトピック
が気になり、徹底 → **B**タイプ
的に調べる

目に留まったトピッ
クを次々とクリッ → **F**タイプ
クする

Q10

飲み会での
あなたは？

飲み物を注文した
り会計をする → **Q19**へ

皆が楽しめるよう
な話題を振る → **Q20**へ

Q14

買い物に
出かけたら？

自分の感性で選ぶ → **C**タイプ

店員さんと相談し
て選ぶ → **F**タイプ

Q11

どちらの飲食店に
行きたい？

内装やメニューが
斬新 → **C**タイプ

きめこまやかに接
客してくれる → **D**タイプ

Q15

新しい情報を
仕入れたら？

すぐに友人に教え
てあげたくなる → **A**タイプ

くわしく調べて裏
を取る → **D**タイプ

Q12

休日にヒマを
持てあましたら？

部屋の模様替えを
する → **Q11**へ

友人とメールする
か誘って出かける → **F**タイプ

Q19

人から言われて
うれしい言葉は？

あなたといると安心する → **Eタイプ**

あなたといると飽きない → **Fタイプ**

Q16

スポーツでチームを
組んだとしたら
あなたの役割は？

監督、コーチ → **Aタイプ**

ゲームの作戦を立てる参謀 → **Dタイプ**

Q20

ボランティア活動をする
としたら？

清掃や修繕 → **Q19へ**

絵本の読み聞かせ → **Fタイプ**

Q17

人に言いにくいことを
伝えるときは？

文書で理論立てて説明する → **Dタイプ**

誠意を込めて話を
する → **Eタイプ**

Q18

作業をする際などに
分厚いマニュアルを
渡されたら？

しっかり読み込んで守る → **Q17へ**

ざっと目を通し、臨機
応変に対応する → **Fタイプ**

← 診断結果は
次のページ

A 導く

あなたは自分の知識や経験を人に教えてあげたり、人をいい方向に導いてあげることに喜びを感じるのでは。専門知識をベースとした「アドバイザー」職や、コンサルティング要素が強い仕事にやりがいを感じられそうです。リーダーシップも備えているので、リーダーやマネジメントのポジションを目指すのもいいでしょう。

B 分析・研究する

あなたはデータや情報を収集・分析することで課題解決法を見つけたり、物事の本質を見極めるのが得意のよう。マーケティングやリサーチなどを主とする仕事で力を発揮できそうです。理論的な考え方ができるので、コンサルティングの仕事にも向くでしょう。また、経理・財務・法務など、数字や法律を扱う専門職を目指す道も。

診断 結果

あなたの強みをチェック！

あなたの志向性と強みが、どんな仕事やポジションで生かせるかを紹介します。現在、その仕事に就いていなくても、今の仕事の中で強みを生かす働き方を意識してはいかがでしょうか。強みをさらに磨くことで、やりがいも感じられるようになると思います。

おわりに

日本では終身雇用制が崩れ、老舗大手企業でさえ大規模なリストラを行う時代。先が読めない時代といえます。だからこそ、自分のキャリアを会社にゆだねるのではなく、自分自身でプランニングしようとする方が増えています。私は日々、転職相談を受ける立場にありますが、今の会社を辞めるつもりがなくても、転職を「選択肢の一つ」として情報収集する方はとて多くなっています。

たとえ何歳になっても、人生をやり直すことはできると思います。

私は転職する方々を何千人も見てきました。中には40代や50代になって未経験の業界に転職し、能力を発揮してイキイキと輝いている方もいらっしゃいます。

ただ、そうした方々は、これまでのビジネス人生において、自分の基盤となるもの、「軸」といえるものを築いていらっしゃいます。20代から積み重ねてきたものを生かすことで、年齢を重ねてからでも新たなチャレンジができ、成功させられる——彼らを見ているとそう感じます。

もちろん、知識やスキルを身につけることは、年齢を重ねてからでも可能です。

それでも、社会人1年目だからこそ身につけやすいこと、社会人1年目でなければチャレンジしにくいこともあります。社会人経験を重ねてから「もっとこうしておけばよかった」「あれを経験しておけばよかった」と後悔することのないように、「新人の特権」をフルに生かしてください。

本書で紹介しているノウハウやテクニックには、社会人何年目になっても使えるものもありますが、特に新人のうちに積極的にチャレンジしてほしいものもあります。

ひとつは、あらゆる人に対して「教えを乞う」ということ。社会人経験を重ねると、プライドがジャマして「今さらこんなこと聞けない」と、知識やノウハウを得るチャンスを逸してしまうことがあります。社会人経験を積んだ人の場合、相手に投げかけた質問が的外れだったりすると信頼を損ねてしまうこともあります。新人のうちなら「まあ、新人だから」と許容されます。それに甘えてしましましょう！人は、興味を持って「知ろう」「学ぼう」という姿勢を持つ人に対して、「教えてあげたい」という本能が発動するものです。遠慮はいりません。いろいろな人を質問攻めにして、彼らの知識や

ノウハウをすべて吸収してしましましょう。

そして、もうひとつは「失敗する」ということです。もちろん、わざと失敗をしましょう、ということではありません。自信のないことにも思い切ってぶつかってみる。人がやっていないことを試してみる。未経験で未知なる分野にチャレンジした人は、当然やったことがない分、失敗や思ったようにうまくできず悔しい想いも多く経験することになります。でも、そうした失敗から学んだことや悔しいと思ったことは確実に身につけ、成功への足がかりとなるでしょう。

ところが、社会人経験を積んである程度責任のある役割を担うようになると、失敗するリスクはなるべく避けなくてはなりません。失敗することによって部署や会社に与えるダメージが大きいからです。また、若いうちに失敗を経験し、失敗への免疫力がついていない場合は、リーダーやベテランクラスになってから失敗すると自分自身の心のダメージも甚大。その点でも、失敗が許されるうちに、心の筋力を鍛えておくと思います。

最後に、楽しく仕事をしていくために、私が必要だと思う3つの要素をお伝えします。
「笑顔」「感動」「出会い」です。

つらそうな顔で仕事をしていると、気持ちもつらいまま。周囲の人も近寄ってこなくなります。チャンスも見逃してしまうかもしれません。実際にはつらいと思っていても、とりあえず笑ってみることで、何となく楽しい気持ちになれることもあります。自分が笑顔で楽しそうに働いていれば、仕事の相手や仲間も自然と笑顔になるでしょう。そして不思議なくらい、チャンスが巡ってくるものなんです。笑顔の多い職場、商談の場は、やはり楽しいものです。「この人と会うのが楽しみ」——そんな風に思ってもらえるためには、笑顔の効力が絶大！ 最初は意識的にでも笑顔を作っていれば、そのうち自然に身につくと思います。

「感動」する力も大切です。私は祖母から「小さなことでも感動できる人でありなさい」と教わりました。そのために常にも常に人の心が揺さぶられるような環境に身を置いてみるのもおすすめです。たとえば、学生時代にやっていたスポーツにもう一度打ち込んでみましょう。スポーツ観戦でも十分に感動が共感できると思います。本や映画、演劇などからでも心に響くものはあるはず。人から聞いた話、些細な出来事もさらっと受け流さ